

大阪 市会だより



1月号
令和5年

編集と発行／大阪市区事務局政策調査担当
〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20
☎6208-8694 FAX 6202-0508
大阪市会ホームページアドレス
<https://www.city.osaka.lg.jp/shikai/>



新春のお慶びを申し上げます

市民の皆様には、良き新年をお迎えのことと存じます。
また、平素より大阪市区会にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

大阪市区会では、市が行う施策・事業に対して、大阪の成長につながるのか、市民の皆様の期待に応えられるのかといった視点から議論を重ねております。本年も、時代の変化に即した施策を着実に推進するとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでまいります。

皆様にとりまして本年が素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



大阪市区会議長
大橋 一隆

9~12月
市会

各会派の一般質問

11月29日、30日の本会議では、各会派の代表議員が市政全般に対する質問を行い、市長などが答弁しました。

大阪維新の会

多頭飼育崩壊に対する取り組みについて



吉見 みさこ 議員

議員 大阪市区では大阪・関西万博までに「犬猫の理由なき殺処分ゼロ」を目指しており、殺処分は着実に減っています。また、民間団体などによる譲渡促進やボランティアの育成により、殺処分のさらなる削減が期待されています。

しかし、殺処分の対象となる疾病などで譲渡が難しい犬猫は、多頭飼育崩壊が原因であることが多いため、未然に防止するには関係係局が民間団体などと連携して取り組むことが必要であると考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 多頭飼育崩壊は多くの殺処分につながることから、未然に防止することが重要と考えます。取り組みにあたっては、民間団体などに引き続きご協力いただくとともに、多頭飼育の情報提供を求めるなど、行政窓口の拡充を図ります。また崩壊に至った事例では、飼い主の方が高齢や経済的困窮により公的支援を受けている場合が多いため、動物愛護と社会福祉を所管する部局が互いに連携し、早期発見に努めるよう指示するとともに、多頭飼育崩壊対策に重点的に取り組みます。

※1 所有する建物・土地を貴重な経営資源として捉え、総合的な有効活用を図る取り組み
※2 子育てと介護を同時に担うこと

- その他の質問項目
- アセットマネジメント(※1)と未利用地の有効活用について
 - ダブルケア(※2)を担う方々への支援について
 - 都市ブランドの確立について(水都大阪の魅力創出)
 - 大阪・関西万博に向けた機運醸成について など

公明党

2025年大阪・関西万博への子どもの無料招待について



永井 広幸 議員

議員 子どもを対象とした大阪・関西万博への無料招待について、2025年大阪・関西万博推進本部のもとに令和4年8月に設置した専門部会において、教育委員会をはじめとした関係局と協議を行いながら、課題への対応や事業化の検討を行っています。

子どもの無料招待は、1990年の国際花と緑の博覧会でも実施されていると思いますが、できる限り多くの子どもが貴重な体験ができるよう、小中学校の児童・生徒に限らず、高校生なども広く対象とすべきと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 次世代の担い手となる多くの子どもたちが大阪・関西万博の会場を訪れ、最先端の技術やサービスに触れ、未来社会をじかに体験することは、自らの将来について学び考える絶好の機会であると考えます。

国際花と緑の博覧会では大阪市内の小中学生や幼稚園児の入場料を全額補助した実績もあり、そういった過去の例も踏まえながら、対象となる子どもの範囲や無料とする手法など、各課題への対応策についてさらに検討を進めます。

※3 心や体の働きが弱くなってきた状態

- その他の質問項目
- 高齢者のフレイル(※3)対策としてのeスポーツの活用について
 - 妊娠時から出産・子育てまでの切れ目のない支援について
 - 平野区まちづくり構想について
 - 校則の見直しについて など

自由民主党・市民クラブ

2025年大阪・関西万博における大阪パビリオン建設工事について



多賀谷 俊史 議員

議員 大阪ヘルスケアパビリオンの建設工事費について、大阪・関西万博の開催に間に合わせる必要があるという理由で公費負担を増額するやり方が当たり前になると、今後も同じことが繰り返され、市民に多大な負担を強いることになるのではないかと危惧しています。

そもそも基本設計事業者が建設費用の見込み額を誤ったことがこの問題の原因であり、市民にきちんと説明すべきだと思います。金額が大きく乖離した要因とそのような事業者を選定した理由は何か、市長に伺います。

市長 基本設計事業者は、学識経験者などで構成する選定委員会において審査を行い、評価点が最高だった事業者を令和3年12月に選定しました。パビリオンの建設事業費の乖離については、特殊な屋根構造などが見積もりに十分に反映されていなかったことなどが要因であると認識しています。

施工予定者の技術協力を得ながらコストダウン、価格交渉などを行い、約99億円で契約を締結しました。今後とも適切に事業の執行管理を行うとともに、大阪市民・府民に対してもしっかりと説明を行います。

- その他の質問項目
- IR(統合型リゾート)について
 - 学習者用端末について
 - 学校選択制について
 - 大阪公立大学キャンパス周辺のまちづくりについて など

自由民主党・市民とつながる・くらしが第一

地域の伝統行事への支援について



田中 ひろき 議員

議員 大阪には地域ごとに特色ある伝統行事が数多く存在していますが、それらは地域に暮らす人々の心よりどころであるとともに、コミュニティを形成するうえで極めて重要なものでもあり、地域の活性化に資する役割が期待されています。

平野郷夏祭りなど地域の伝統行事に対して、各区の状況に応じた支援をしていると思いますが、その支援の度合いには濃淡があります。大阪市区全体で地域の伝統行事をしっかりと支援していただきたいと考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 各地域における伝統行事は、次の担い手へ継承していくよう地域と関係機関が連携して取り組むべきと考えます。大阪市区としても、地域文化や観光魅力の一つとして、観光情報サイトによる広報や、文化庁の補助制度を活用した後継者の養成など基盤整備を支援するとともに、地域の状況に応じて行事のサポートや各区での広報協力などの側面支援も行っています。

平野郷夏祭りのような地域の伝統行事については、今後も関係機関などで連携しながら支援を行います。

- その他の質問項目
- 台湾有事に関する危機管理対応について
 - 塾代助成事業について
 - 学校への欠席連絡について
 - 子どもたちが硬式野球のできる場所の整備について など